

つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略（たたき台）について

本「たたき台」について

つくば市未来構想及び戦略プラン等の既存の指針や基礎調査等の成果を踏まえつつ、今後更に意見交換等を重ねていくに際し、議論のための「たたき台」として作成するものです。

1 つくばならではのまち・ひと・しごと創生

筑波研究学園都市の建設により、現在、つくば市は、外国人を含む約 20,000 人の研究者と約 140 の研究機関、大学を有し、世界有数の研究開発及び人材育成拠点となり、国際戦略総合特区をはじめとした、様々な最先端な取組が行われています。

その骨格をなす筑波大学をはじめとした 3 つの大学には全国各地から学生が集まり、大学近辺が「巨大な合宿所」と形容されるほどの学生街が形成され、若者が集うまちとなっています。その一方、周辺地域では緑豊かな自然や田園が広がり、水稻やネギ、芝などを基幹作物とした様々な形態の農業が盛んに営まれており、近年では 6 次産業化や農業体験受け入れなど、新たな農業ビジネスに積極的に取り組む農業者が増えています。

そうしたつくば市のこれまでの取り組みや、つくばが持つ資源を最大限に活用し、「しごと」と「ひと」の好循環、それをささえる「まち」の活性化に向けて、つくばのまち・ひと・しごとを創生します。

2 4 つの基本目標

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を生むことを目的として、4 つの基本目標を設定します。

- (1) しごとをつくり、安心して働ける環境をつくる
- (2) 東京圏から人を呼ぶとともに、茨城県南の人口流出のダムとなる
- (3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- (4) 地域の拠点を強化し、コミュニティづくりを推進する

※総合戦略では、4 つの基本目標について、総合戦略の目標年次である平成 31 年度にそれぞれ実現すべき「成果指標」を設定し、適切な P D C A サイクルの確立を目指します。

3 目標の実現に向けた施策・取組

今後、基本目標ごとの基本施策及び個別施策を精査し、庁内策定組織において検討を行い、原案として取りまとめを行います。策定に際し若手職員の参画を促し、現状の取り組みに加えて、若手ならではの視点で新規事業等を募集し、総合戦略が既存の計画の焼き直しに終わることの無いよう、大胆な取り組みも盛り込んでいきます。

加えて、市民アンケートにより結婚・出産・子育てに関する市民の方の希望や高校・大学卒業予定者の就職・定住希望をお聞きするとともに、パブリックコメントや市民懇談会等を実施し、まち・ひと・しごと創生に関する全般的な意見など、幅広い市民意見について収集・反映を行います。

〈基本目標ごとの施策例〉 ※今後、有識者会議及び市民意見を踏まえ加筆・修正予定

まち・ひと・しごと創生の 基本目標	基本施策	個別施策
(1)しごとをつくり、安心して 働ける環境をつくる	(ア) 産業競争力を高める	① 商工業の育成 ② 農業の振興
	(イ) 科学技術で新たな産業・雇用をつくる	① 科学技術の振興 ② ロボットの街つくばの推進 ③ 研究機関等の集積の強化
	(ウ) 安心して働ける環境をつくる	① 雇用の安定化の推進
(2)東京圏から人を呼ぶと ともに、茨城県南の人口流 出のダムとなる	(ア) つくば市の魅力を発信する	① シティ・プロモーションの推進 ② 観光の振興 ③ 移住に関する相談窓口
	(イ) 魅力ある居住・交流環境を創出する	① 住環境の整備 ② つくば駅周辺地区の活性化
	(ウ) スポーツと文化・芸術を振興する	① スポーツの振興 ② 文化芸術の振興
	(エ) 共生のまちづくりを推進する	① 国際化の推進
(3)若い世代の結婚・出産・ 子育ての希望をかなえる	(ア) つくばで家族になる	① 出会いの場の創出
	(イ) 出産・子育て環境を改善する	① 子育て環境の整備 ② 障害者の地域生活支援 ③ 生活困窮者福祉の推進 ④ 健康づくりの推進
	(ウ) 教育日本ーを目指し教育内容を充実する	① 小中一貫教育の充実 ② つくばスタイル科の充実 ③ 教育環境の整備 ④ 教育現場の支援体制整備
	(エ) 魅力ある居住・交流環境を創出する(再掲)	① 住環境の整備(再掲)
	(オ) 子育てのしやすい社会をつくる	① 男女共同参画社会の推進 ② 子育て女性の社会復帰支援
(4)地域の拠点を強化し、コ ミュニティづくりを推進する	(ア) 共生のまちづくりを推進する	① 市民協働の推進
	(イ) 防災力・防犯力を強化する	① 災害に強いまちづくりの推進 ② 犯罪に強いまちづくりの推進
	(ウ) 各地域の拠点を整備する	① ハブアンドスポークの推進 ② 交通移動体系の整備
	(エ) 低炭素化に貢献する	① 低炭素化の推進
	(オ) 自然環境を保全・活用する	① 環境意識の啓発